

# 桜川市古墳マップ

Sakuragawa City Burial mounds MAP

作成：桜川市教育委員会



## 岩瀬・大和地区



### ◆マップの見かた◆

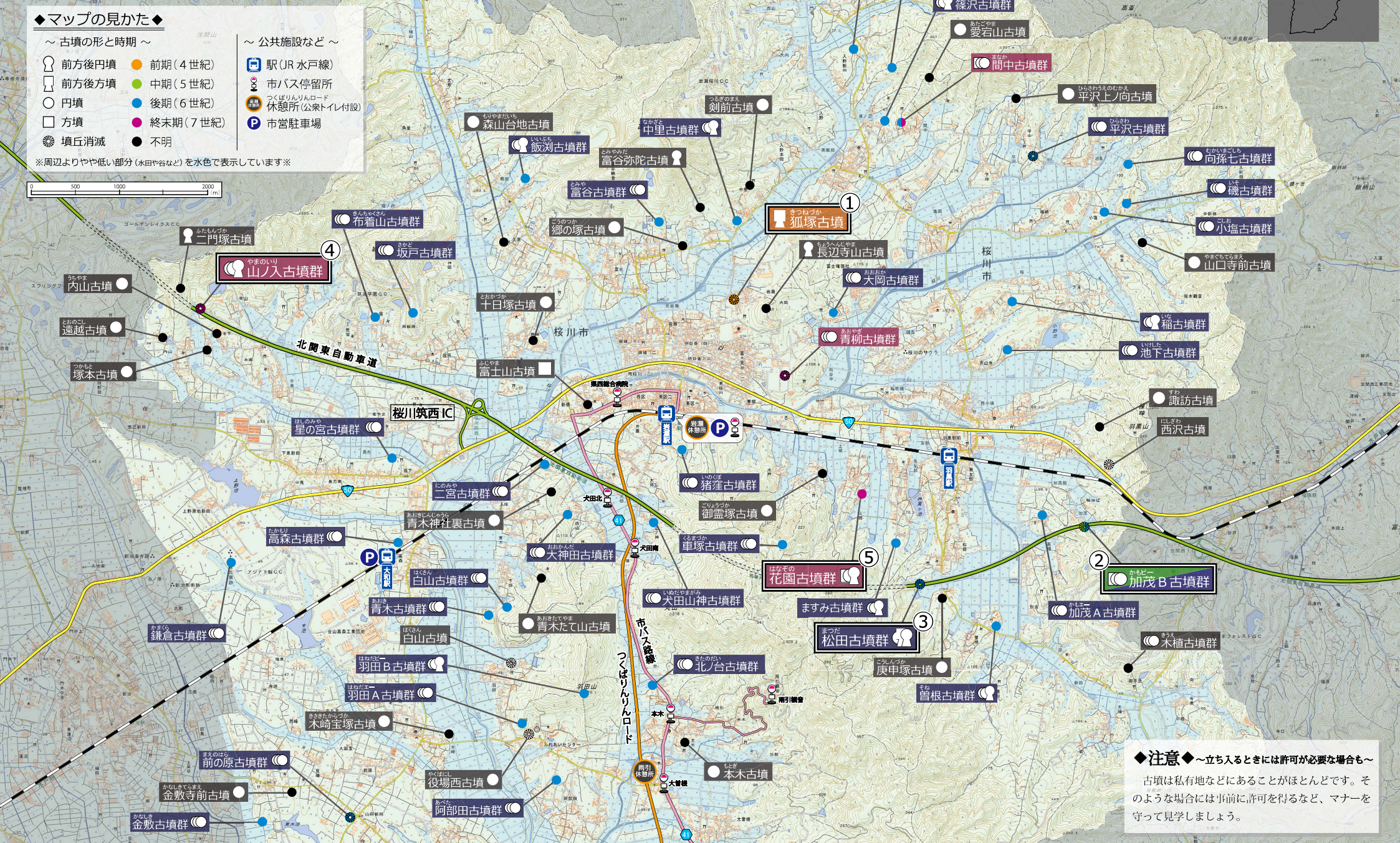
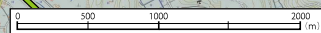
#### ～古墳の形と時期～

- 前方後円墳
- 前方後方墳
- 円墳
- 方墳
- 墳丘消滅
- 前期(4世紀)
- 中期(5世紀)
- 後期(6世紀)
- 終末期(7世紀)
- 不明

#### ～公共施設など～

- 駅(JR水戸線)
- 市バス停留所
- 休憩所(公衆トイレ付設)
- 市営駐車場

※周辺よりやや低い部分(水田や谷など)を水色で表示しています※



◆注意◆～立ち入るときには許可が必要な場合も～  
 古墳は私有地などにあることがほとんどです。そのような場合には事前に許可を得るなど、マナーを守って見学しましょう。

## 桜川市の古墳

古墳は、主にその地域を支配する者の墓として1650年ほど前より造られ始め、約400年にわたり造り続けられました。現在でも各地に残る古墳や遺跡は、当時の歴史を私たちに物語ってくれる大切な地域遺産です。

桜川市の古墳は確認されているだけで300基近くにのぼり、未確認のものや消滅してしまったものも含めれば、それを上回る数の古墳があったと考えられます。最も数が多い地区は岩瀬地区で、約200基が確認されています。大和地区と真壁地区でも合わせて100基近くの古墳が確認され、発掘調査により以下のような内容が明らかにされています。(開発により消滅した古墳も含まれます。)

## 岩瀬地区

### ① 狐塚古墳

**県内最古級の古墳**  
(前方後方墳・4世紀・消滅)

出土物から県内最古級の古墳であることが判明し、この地域に初めて古墳文化を導入した人々の痕跡である。開発により墳丘は消滅。出土した副葬品は県指定文化財に登録されている。

### ② 加茂B古墳群

**1つの墳丘に2世代が葬られた？：6号墳**  
(円墳・6世紀前半・消滅)

頂部から2つの埋葬施設(人が埋葬された跡)を発見。片方からのみ副葬品が出土し、このことは初代から第2世代へと副葬品が受け継がれたものと推測された。

### ③ 松田古墳群

**墳丘の上と中に埋葬施設をもつ古墳：1号墳**  
(前方後円墳・6世紀前半・消滅)

頂部と内部から埋葬施設を発見。頂部からは多数の副葬品が、内部からは釧(腕輪)のみが出土。後者には女性もしくは若者が埋葬されたと考えられている。

### ④ 山ノ入古墳群

**様々な地域との交流を持つ人物の墓：2号墳**  
(前方後円墳・6世紀末～7世紀初め・消滅)

交流の様子は古墳自体や出土物から推測できる。調査の結果、古墳の形は栃木や土浦地域の影響を受け、具から中央政権との交流が推測されている。

### ⑤ 花園古墳群

**北九州に由来する「装飾古墳」：3号墳**  
(方墳・7世紀初頭・消滅)

装飾古墳は石室内が彩色や線刻などで装飾された古墳で、北九州で盛んに造られた。3号墳は「彩色壁画古墳」で、関東では茨城県内のみで発見されている。

## 真壁地区

### ⑥ 北椎尾天神塚古墳

**中央政権と同様の祭祀用具をもつ人物の墓**  
(円墳・5世紀中葉・消滅)

中央政権でも使用された祭祀用とされる武具などを模した石製の道具(石製模造品)が出土。古墳の主は、中央政権とつながりがあり祭祀を司る人物であったことがわかる。

### ⑦ 八幡山古墳

**次の時代の波が到来。仏具が出土した古墳**  
(円墳・6世紀末～7世紀初め・消滅)

未調査のまま削平されたため、詳細は不明。仏具の一種である銅鏡が出土していることから、この古墳の主は当時の最新の文物を手に入れた人物であったことがわかる。

### ⑧ 羽鳥天神塚古墳

**戦国時代に破壊された古墳。櫓台に改変か？**  
(円墳・6世紀末～7世紀初め)

調査の結果、墳丘は戦国時代に大きく削土され、石室はほぼ完全に破壊されたことが判明。桜川に由来する低地を望む立地であることから、櫓台などに改変された可能性も。

## 市内古墳の規模ランキング TOP10

長辺寺山古墳	120m	前方後円墳
稲1号墳	72m	前方後円墳
二門塚古墳	60m	前方後円墳
羽田B7号墳	50m	前方後円墳
高森1号墳	50m	円墳
大岡9号墳	50m	円墳
大岡2号墳	47m	円墳
青柳1号墳(消滅)	45m	円墳
狐塚古墳(消滅)	44m	前方後方墳
猪窪5号墳	42m	円墳

## 真壁地区